

令和5年度「EBPM ポータル構築に向けた調査・分析」に関する質問及び回答

令和5年6月28日

RIETI EBPM センター

項目	質問	回答
仕様書	<p>3. (2) ①②: ①と②の違いは、査読を受けているかどうか、ということでしょうか。ワーキングペーパーやディスカッションペーパーは①と②のどちらに入るでしょうか。また、官公庁や研究所などが発行しているレポートには、査読付き論文／ワーキングペーパー／ディスカッションペーパーのような学術論文の体裁を取らず、複数の章立てからなる比較的長編のものも存在します。それは収集の対象として想定されているでしょうか。想定されている場合、それは①と②どちらに入るでしょうか。</p>	<p>①は主に査読付論文をイメージしておりますが、ワーキングペーパーやディスカッションペーパーのように学術論文の体裁を取っているものについても、①に該当いたします。他方、学術論文の体裁を取らないようなレポート（複数の章立てからなるものを含む）については②の中で収集をしていくこととなります。(2)の収集対象は「特定の政策に関する効果検証」を行った事例ですので成果物が大部になることは想定しづらいですが、仮にそのような事例がある場合は、内容に応じて必要十分な作業を行うべく（特定の章のみを対象にして要約を行う等）、委託事業の中で調整させていただければと考えております。</p>
仕様書	<p>(2) ③: 要約はどの程度のボリュームを想定されているでしょうか。文字数や A4 のページ数など何か想定されているものがあればご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>文字数は規定しておりませんが、仕様書に記載のとおり「簡潔で分かりやすく」という観点から、既存の Abstract (の和訳) より短いものを想定しております。政策担当者が短時間で論文のポイントを理解できるようにするためにはどのような形・文字数での提供がベストであるかといった観点も含めて、ご提案をいただければと存じます。</p>